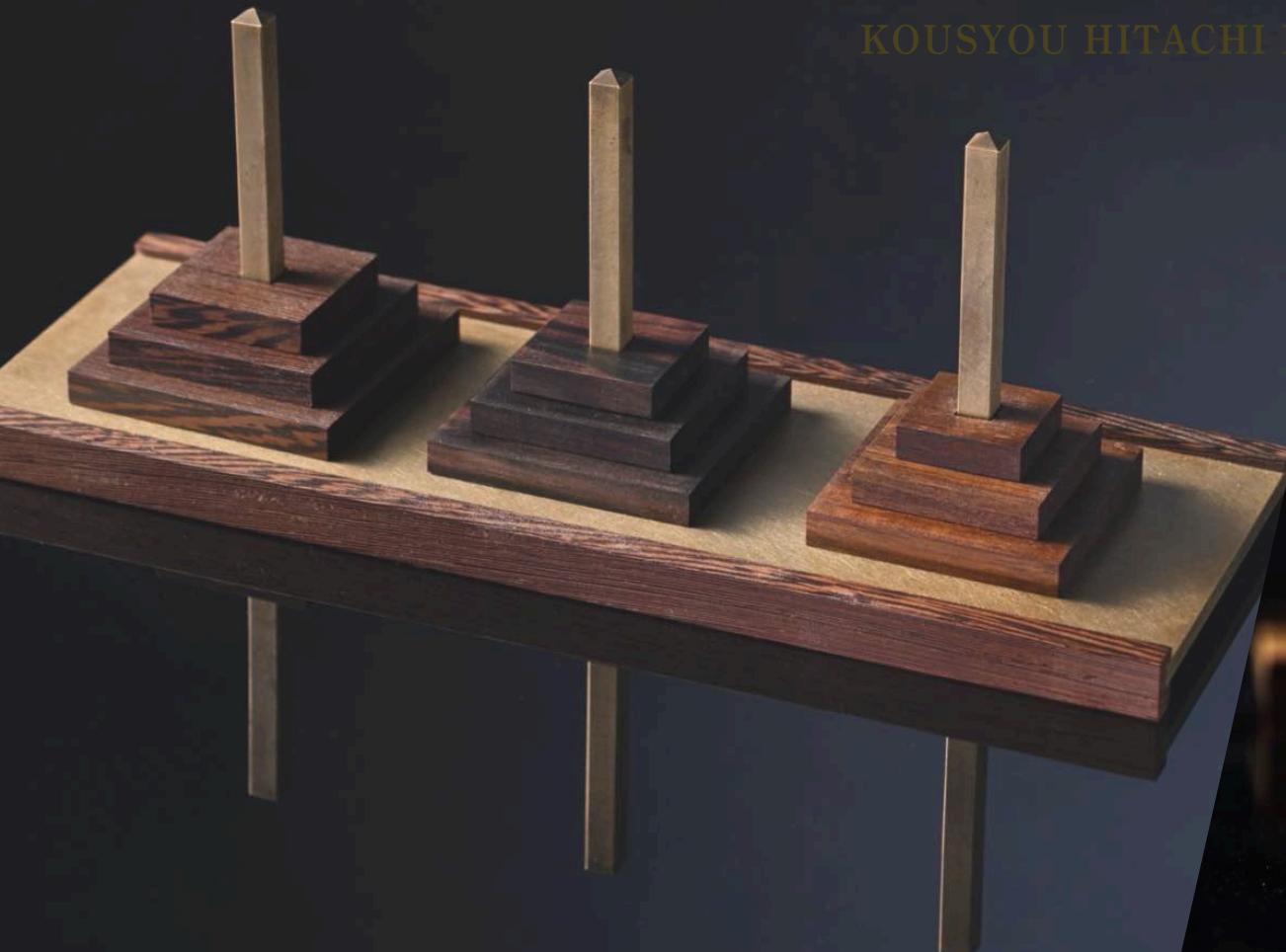


TOWER OF HANOI

KOUSYOU HITACHI INC.



THE BIRTH OF THE TOWER OF HANOI



2024年の夏、

里帰りしていた実家で暇を持て余した際に、ふと目に留まったのが「コレ」である。

亡き父が40年前にアメリカで買った木製の玩具を手に取り、久しぶりに興じてみる。

そんな私の姿を眺めながら、母は40年前に家族で暮らしていたテキサス州オースティンの思い出を語り、
10歳になる我が息子はこのゲームを理解しようと私を質問攻めにする。

直ぐに理解した息子は、いとも簡単にこのゲームを攻略し母と妻を驚かせた。

得意げに講釈を垂れる息子と、その横でゲームに悪戦苦闘する母の姿を眺めながらふと、この玩具は何という名称なのだろうと気になりました。
40年前からずっと置いてあった得体の知れない玩具がちょっとした暇な時間をぽつと和む素敵な時間に変えてくれた。

そして、2024年の秋、

世代を超えて、ひっそりと、いつまでも置いておくことのできる「コレ」を世に送りだすこととなった。

玩具ではなく、

インテリア





Origin

太古の昔、インドのガンジス湖畔の町ベレナスには、
世界の中心を表すという巨大な寺院が存在した。

そこには青銅の板の上にダイアモンドの針が立てられており、
そのうちの一本には64枚の純金の円盤が大きいものから順に重ねて置いてあった。

世界が始まる時、柱に64枚の円盤を重ねたヒンドゥー教の創造神プラフマーは、
司祭たちにその円盤を別の柱に移し替えることを命じ、
すべての円盤を移し終えた時、世界は終焉を迎えると告げた。

1883年、フランスの数学学者エドゥアル・リュカが考案したパズル「ハノイの塔」は、この伝説と結び付けて世界に紹介された。
リュカが考案したオリジナルバージョンは伝説と同じ64枚の円盤を使うもので、最短手数は 18446744073709551615 回。
仮に1秒に1枚動かせたとしても最短で約6000億年かかる計算となる。

MATERIALS FOR THE TOWER OF HANOI

ウェンジ

アフリカ原産のマメ科の木。
重硬で強度が高く耐久性に優れている。
色味や木目も美しく、高級家具や楽器、
フローリング材などに幅広く使われてい
る。



月桂樹

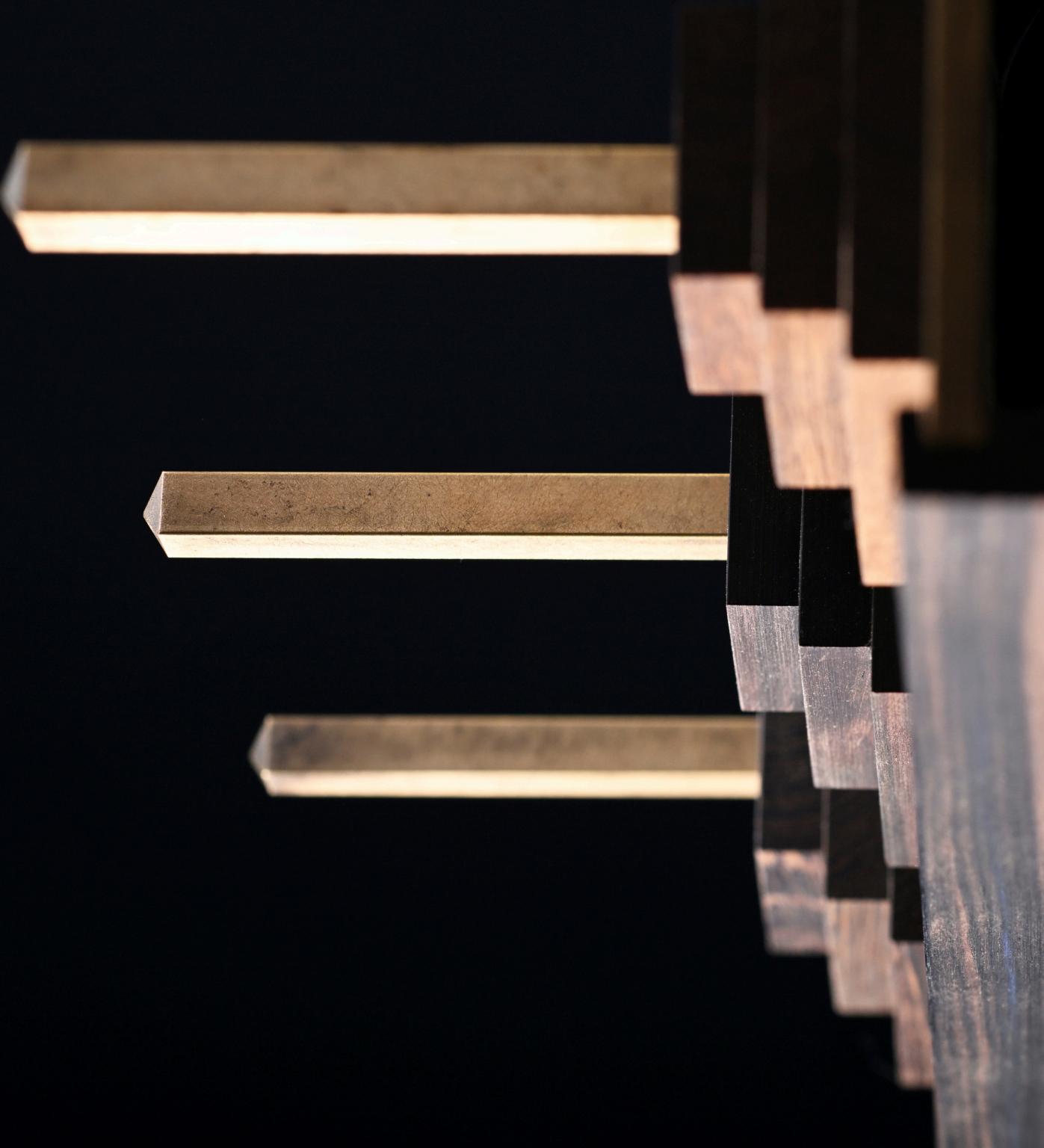
地中海原産のクスノキ科の常緑高木。
花言葉は「栄光」「勝利」「栄誉」。
古代ギリシャでは太陽神アポロンの木
とされ、月桂樹の小枝で作った冠を勝
者や英雄に授けられる習慣があつたこ
とも広く知られている。
木材としての評価も高く、淡褐色から
赤褐色の美しい木目は高級家具や格式
高い建築に使用されている。

黒檀

カキノキ科の熱帯性常緑高木の数種の総称。
主に南アジアからアフリカが原産。
黒色と褐色の美しい縞模様が特徴で、日本は格式の高
い和室の「床の間」の「床柱」、「床框」、「落とし掛け」
に使われている。

真鍮

銅と亜鉛を混ぜ合わせた合金で、強度やしなやかさのバランスが良い優れた金属。
黄金色の美しさ、加工のしやすさ、耐食性の高さ、剛性の高さによって、太古の時
代から現代まで発展を続けている。
工業用部品、楽器、仏具からアクセサリーまで、様々な用途で使用されている。
徐々に表面が酸化して黒ずんでいき、年月を重ねる程に趣が出る。



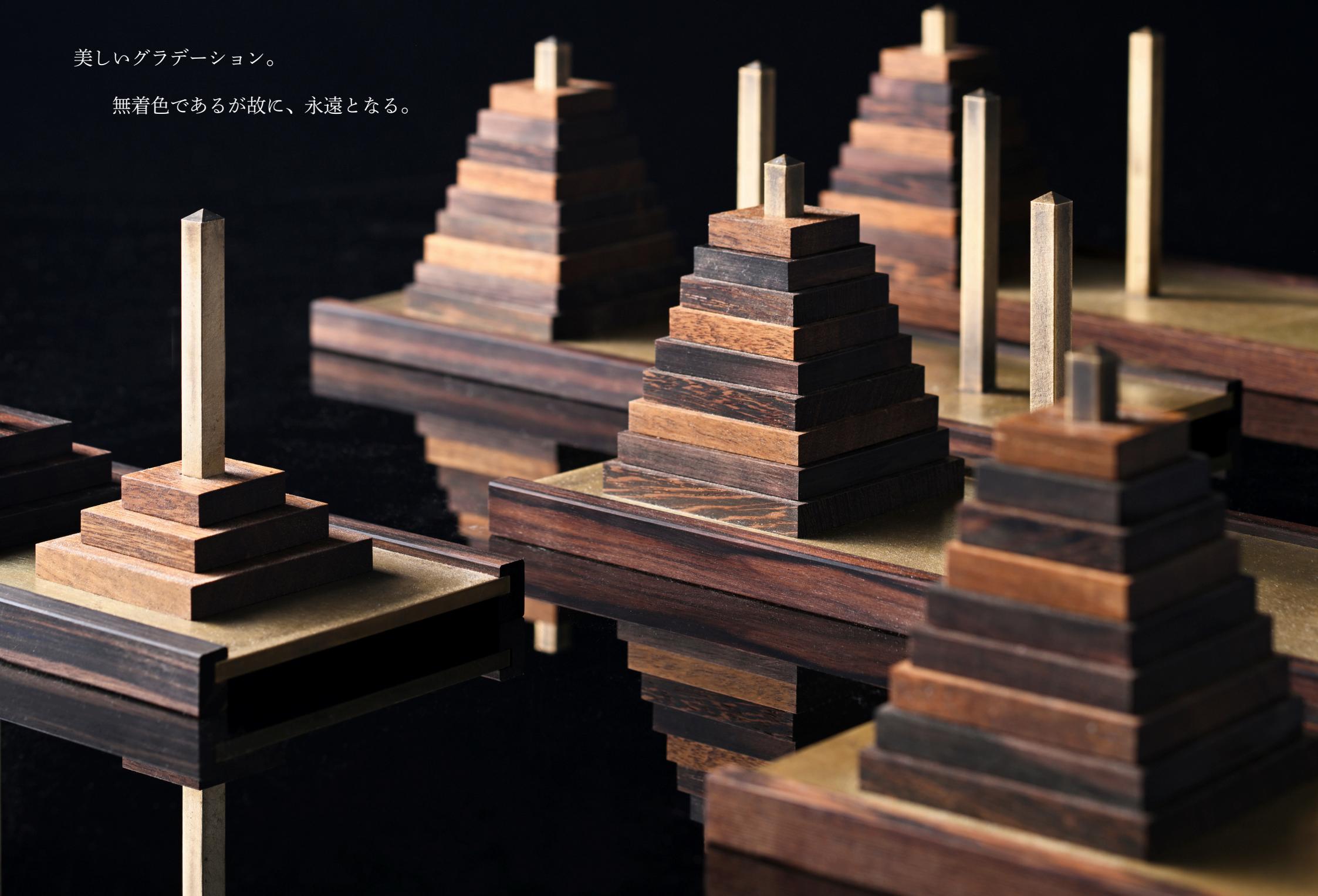
古代遺跡のような漂とした風格。

経年と共に美しく変化する真鍮。



美しいグラデーション。

無着色であるが故に、永遠となる。

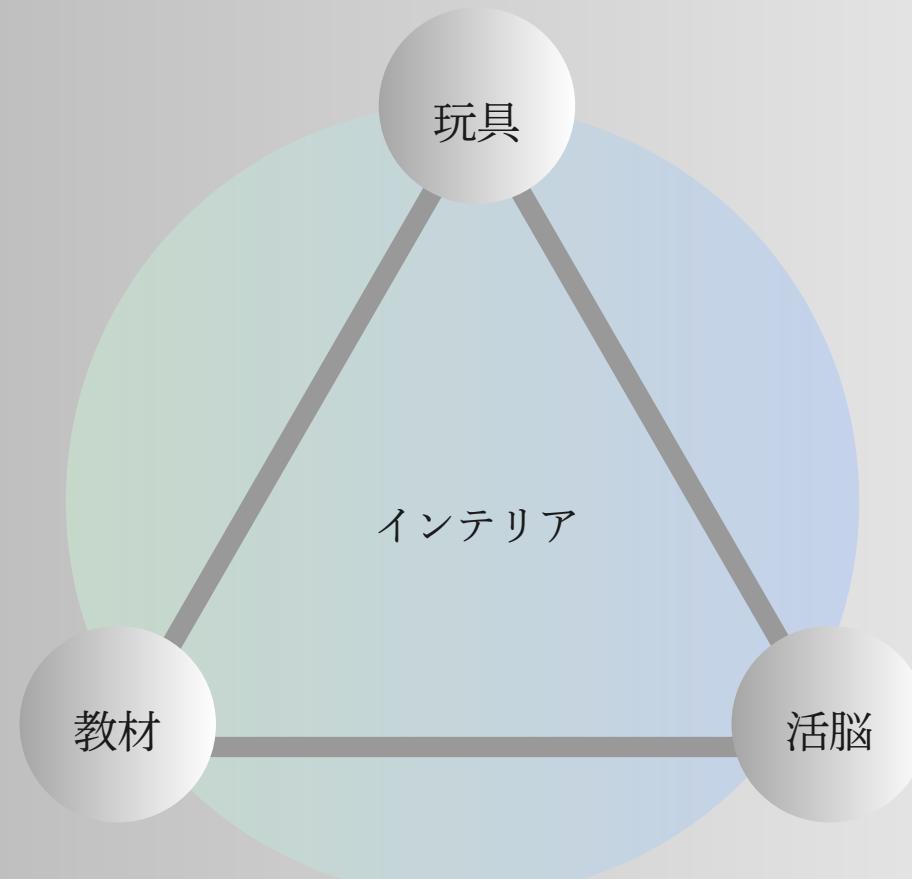




使用感が創り出す唯一無二の美しさ

Explanation

小さい子どもはカチカチ音を鳴らしたり、棒に盤を入れて楽しむ。徐々にゲームを理解し、ルールに従い遊ぶようになる。盤の数により難易度も変わる為、子どもから大人まで楽しめる。



数列との関係が深く、高校数学の漸化式や数学的帰納法を理解する為に有効な教材として、中学、高校の教材として使用されている。

脳の健康維持や、若返りを目的として老人ホームや養護学校などで使用され、脳への適度な刺激を与えるながら楽しく取り組む試みが取り入れられている。

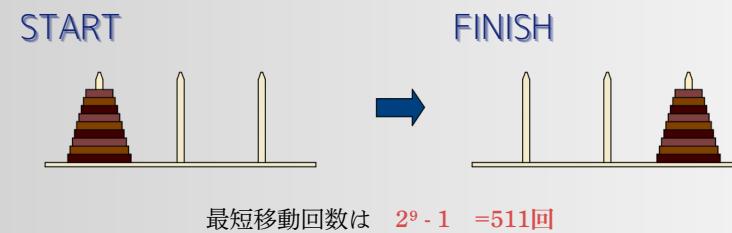
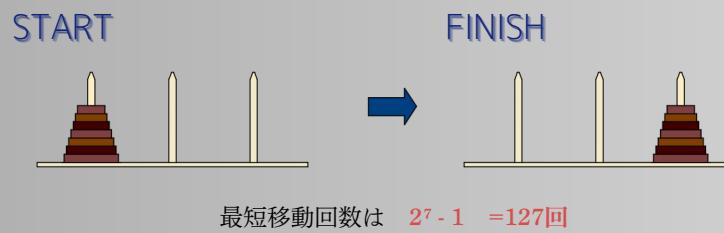
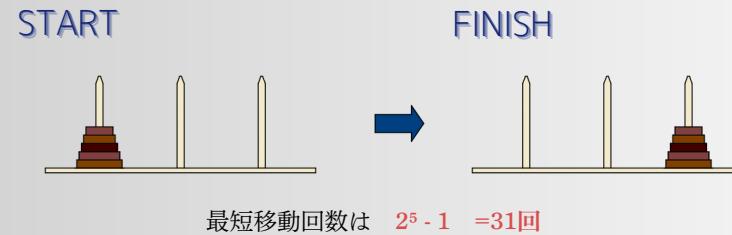
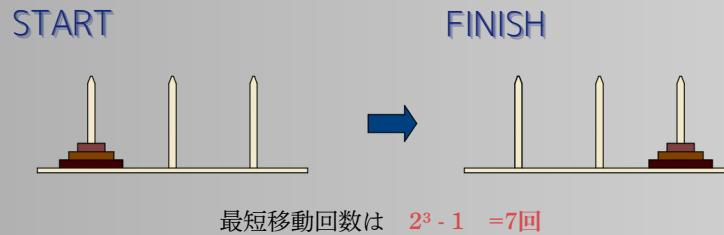
HOW TO PLAY THE TOWER OF HANOI

ルール

- 重ねられた盤を一枚ずつ別の棒に移動する
- 盤は上から一枚しか取れない
- 動かす盤は自分より大きな盤の上には置けるが、自分より小さな盤の上には置けない
- 別の棒に元どおり下から大きい順に重ねた状態にできたらクリア

Ver.1

盤の枚数が増えると、最短手数は増え難易度が上がる。
クリアしたら1枚ずつ盤を増やし、難易度を上げて楽しむことができる。
最短移動回数は $2^n - 1$ となる。



Ver.2

①3本の柱にそれぞれの種類の盤を
大きい順に積み上げる。

②左側 2 本の柱にそれぞれ1番大きい盤を残し
1 番右の柱に残りの盤を大きい順に並べる。

③1 番左の柱に2段積み
右の柱に大きい盤を残して
残りの盤を真ん中の柱に大きい順に並べる。

④この手順を繰り返し、
1番左の柱に全ての盤を大きい順に積み上げ完成。





¥ 88,880-
(税込み)

DESIGNER INTRODUCTION



PLOYEE

代表取締役 / 棟梁

中島 雅生

一級建築士・宮大工棟梁

大学卒業後、地元茨城県にて大工となり、一般住宅や茶室などの数寄屋建築及び社寺建築の仕事従事。

その後、最高峰の技術を習得すべく、京都の中村外二工務店に職人として入社。

中村外二工務店は伊勢神宮茶室をはじめ、国内のみならず海外にも多くの茶室を手掛けてきた数寄屋建築の名門です。

その後、京都にて独立し、京都の（株）北村誠工務店に常用で出入り。

北村誠工務店は六代続く社寺建築の名門で、主に鹿苑寺（金閣寺）、慈照寺（銀閣寺）、相国寺、北野天満宮などに出入りしている工務店です。

2018年、株式会社 工匠常陸 を茨城県土浦市に設立。



株式会社 工匠常陸



029-869-8915



茨城県土浦市東並木町3448番地



www.kousyou-hitachi.com



info@kousyou-hitachi.com